

今までにない参加者数

-- 「文化体験フェスタ」実施報告 --

実行委員長 中内 伊美子

第12回「青少年文化体験フェスタ」を、7月7日、狭山市立入間川東小学校にて開催いたしました。

今回は15団体が体験の場を提供し、延べ394名の小・中学生の参加があり、3名の中学生ボランティアの参加もありました。

この参加者数の盛況は、学校のご理解、交通の便、当日の天候等も要因になったと考えます。

参加者へのアンケートでは、回答244名中93%が良かったとの回答でした。

市内全域の小・中学生が対象であり、

今回も送り迎えを考え、駐車スペースへの配慮が特に必要でした。当日、急遽近隣に貸して下さる方があり、感謝しております。また、交通安全協会のご協力をいただくことができました。これもありがたいことでした。



このフェスタも回を重ねるたびに運営はスムーズになり、また新たな解決要件も見つかります。次回の予定に生かしたいと思います。

「青少年文化体験フェスタ」レポート

七夕の日、梅雨の期間中で、どんより曇って霧雨もあったが、涼しくてフェスタ日和。受付は子ども達と親御さんでゴった返す。今までに見られない熱気。開始5-6分でもう体験が始まっている。講師の人達も手慣れた様子。

体育館の和太鼓・ジャズダンスは大人数だが、待ち時間を無くし、交代させて飽きさせない。絵画が手違いで出遅れたが、時間内に完成させた。

会場の東小学校は、今まで若干名の参加だが、今日は60名も。校長先生の助力の結果だろう。教室は涼しくありがたい。

ピンホールカメラの子ども達が校庭に散らばって笑顔と歓声の中で無事終了となった。交通安全協会の協力で、入口の渋滞なし。ご苦労様でした。

(広報委員会 高沢正夫)